

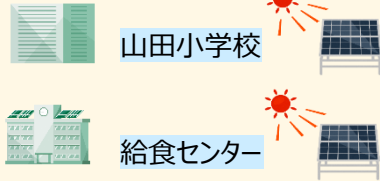
## 結果：不採択

## 脱炭素先行地域への応募について

## 脱炭素先行地域とは…

2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門の電力消費に伴うCO2排出量の実質ゼロを実現する地域で、「実行の脱炭素ドミノ」のモデルとなる地域です。先般、草津市は環境省の「脱炭素先行地域づくり事業」に応募したところであり、その中の「農業エリア周辺での営農型太陽光発電及びPPA事業」において、浄水施設を電力需要家群として位置付けています。

## 需要家群



ロクハ浄水場  
取水ポンプ2

ロクハ浄水場  
取水ポンプ1

北山田浄水場

草津用水  
(北山田揚水機場)

草津市役所

受電

オフサイトPPA

送電

送配電  
事業者  
関電送配電

電力小売  
事業者  
関電など

部分供給 (電力の安定供給を保證。オフ  
サイトPPAで不足する電力を既  
存電力事業者から供給)

送配電  
事業者  
関電送配電

電力小売  
事業者  
関電など

オンサイトPPA  
(自家消費)

## 水道事業（浄水施設）への影響について

(メリット)  
浄水施設の電力由来のCO2がゼロになることで、  
環境に配慮した事業運営につながる。

(デメリット)  
既存の電力事業者から購入する場合に比べ、電気  
料金が割高となる可能性がある。

需要家群が使用する電力  
を再生可能エネルギーに  
置き換える

送配電  
事業者  
関電送配電

送配電  
事業者  
関電送配電

送配電  
事業者  
関電送配電



蓄電池  
1500kW/6000kWh

オフサイト  
PPA事業者  
発電

北山田・下笠地先のハウス団地  
周辺に太陽光発電設備を設置